

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度第1回 岩舟地域会議
開催日時	令和2年6月17日19時00分 開会 20時2分 閉会
開催場所	岩舟公民館 講義室
出席者氏名	阿部優子、川原井正敏、小林香代子、時田宣久、永島勇、永島仁一 永田昌弘、広瀬昌子、田中正太郎、安藤芳雄、斉藤栄吉、高久厚子、 相良香津子、瀬下敏明、森田鉄夫 以上15名
欠席者氏名	海老沼圭子
事務局職員職氏名	岩舟地域づくり推進課長 山野井広実、副主幹 中田与志人 主査 堀江裕美 以上3名
その他出席者等	都市計画課 副主幹 鈴木宏彰 主任 野口泰弘
会議事項	(1) 栃木市立地適正化計画の素案について（意見聴取） (2) 地域予算提案事業について (3) その他
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
◆担当課 ●委員 ◆担当課 ●委員 ◆担当課 ●委員 ◆担当課	<p>1. 開 会</p> <p>2. あいさつ 会長によるあいさつ</p> <p>3. 議事 (1) 栃木市立地適正化計画の素案について（意見聴取） 《資料に基づく説明》</p> <p>68 ページの東武線の線路の西側は市街化調整区域であり、周辺の農地は荒れ放題となっているため、市街化区域にできないか。</p> <p>立地適正化計画では、市街化区域内に誘導区域を設定していくため、市街化調整区域から市街化区域に編入する線引きの見直しは、別の計画となる。市街化調整区域から市街化区域への編入については5年に1回の基礎調査の結果に基づき検討を行う。人口が減少している中で、市街化区域を広げることは難しいのが現状である。</p> <p>5年に1度ということであるが、今度はいつ行われるのか。</p> <p>来年度、栃木県が各市町の協力を得ながら実施する。基礎調査では人口、交通、工業、空き地、空き家などの項目について調査する。</p> <p>岩舟駅南側が市街化調整区域となっているが、数年前、岩舟駅から総合支所に向けて1本大きな道路を整備するという計画があった。この計画が実現した場合、線引きは変わるのか。</p> <p>現在、市では岩舟駅南口周辺の土地利用について、住民の皆様のご意見を聴きなが</p>

	<p>ら検討している。この検討に当たっては当然、駅南側の市街化調整区域の土地利用に関し併せて検討することとなるが、現在、農業振興地域に指定されている優良農地であり、基本的に今後とも農業的土地利用を図る区域となっている。他法令との関係も出てくるが、市として駅南側を整備することになった場合、市街化区域への編入を含めて検討していくことが必要である。当該区域が市街化区域となった場合は、立地適正化計画も概ね5年ごとに見直しをかけていくことになっているので、都市機能誘導区域を広げることも考えられる。</p>
●委員	<p>市街化区域に編入という話だが、市街化区域への編入要望の強いところが他にあったような気がする。その場合の優先順位について、市としてどの計画を一番優先したいのか。</p>
◆担当課	<p>市街化区域への編入については、この計画の上位計画である都市計画マスタープランに沿って行うことになっており、その計画で広域拠点や地域拠点、産業拠点などが位置づけられている。その優先順位については計画の中では定められないが、今回は、産業拠点となっている栃木インター周辺や都賀の平川地区の線引きの見直しを行うこととしているが、線引きの見直しについては、事業を行う上での財政的な面や地元の合意形成もあり、順番に実施していくとしか回答できない。岩舟地域は岩舟駅南側について、市街地整備課において南北に道路を通すことや、面的な整備はどうするかなどを地域の皆様と一緒に検討を進めている。</p>
●委員	<p>人口が増えていないと市街化区域への編入は考えられないという話があったが、これから先、行政は人口が減ることを前提として考えているため、岩舟駅南側の市街化調整区域が、市街化区域になるという可能性はないのではないかと。</p>
◆担当課	<p>人口が増えていない中で新たな住居系の市街地を広げることは難しいが、拠点として位置づけられており、市などが確実に整備していくことが線引きの見直しの条件であるため、駅前については土地利用に関する方針が決定した段階で、線引きの見直しも必要だと考えている。</p>
●委員	<p>駅前の整備を行うのであれば、先行きの大きな構想をもって、例えば大きな道路を2つ作り、この範囲は全部市街化区域になる、というような先の考えを持てば人口は自然に増えると思うが、市街化調整区域は家が建たない。人を増やすためにはそういう地域を市街化区域になるような方向づけ、そういう先の構想をもって段階的にでもいいのでやっていってもらえれば、もっと計画的な駅前整備ができるのではないかと思う。</p>
◆担当課	<p>駅前の一等地でもあるので、面的整備、道路整備という手法が考えられ、そういった整備を推進していく地域だと認識している。農政部局からすると、農地として守らなければならない土地である一方で、都市的な視点で国の方向性としては、公共交通、鉄道駅を中心としているのが前面に出ているので、こういったところの土地利用は、地元のご意見を聴きながら、今後の岩舟地域をどうしていくかを検討していく必要がある。</p>
●委員	<p>50ページの都市機能誘導区域の設定、次のページで誘導施設の設定とあるが、誘導施設、●で総合支所とあるが、要するにこれを誘導施設として活用したいということか。</p>
◆担当課	<p>●を付けた施設は、地域拠点の中で必要と思われる施設で、さらなる誘導を図って</p>

	<p>いきたい。誘導施設には2つの役割があり、誘導することと、今ある施設を維持し、外に出さないという役割がある。先ほど話した届出制度とは、施設が誘導区域外に出る、中にある誘導施設が休止する等の場合に届出がある。市として、そういった施設を整備する側の考えをいち早く正確にキャッチし、その後、施設が休止する場合に他の業者に斡旋したり等ができるように届出制度があるので、それらを活用して地域拠点の中に都市機能を維持していきたい。</p>
●委員	<p>岩舟地区は、人口が多く都市機能も充実していることは重々承知しているが、交通という面では、車であれば不自由はないが、車に乗れない人という考えになると東武鉄道の静和駅の方が両毛線の岩舟駅よりはるかに利便性があると思う。そういった意味では、静和駅前周辺にもこういった区域を設定してもいいのではと思うがどうなのか。</p>
◆担当課	<p>立地適正化計画を策定するに当たって、区域の設定が一番重要なところとなる。国の指針では、区域を広げすぎないようにという話があり、不必要に広い範囲となると、都市機能が分散してしまう。居住を誘導することにより都市機能を維持するという役割もあるので、人口減少が進んでいる中では、範囲を広げてしまうと難しい。そのため、この計画の中では、都市計画マスタープランの地域拠点内に都市機能誘導区域を設定し、その周辺に人口を集めて都市機能を維持し、拠点間を公共交通で結んでいる。例えば静和駅の近くに住んでいる方も公共交通機関で各地域の中心拠点へ容易にアクセスできるようにするというのがこの制度になる。静和駅に都市機能誘導区域を作って人口が分散してしまうと、人口減少の中で両方の都市機能誘導区域を維持できるのかとなると難しいと思う。市としては1ヵ所に都市機能誘導区域を設定し、そこに公共交通機関で不便なく、将来的に車を運転できなくなってしまうという不安を持っている方も公共交通機関を充実させて遠くからでも行けるようにするという仕組みになるので、都市機能誘導区域は地域拠点だけと考えている。</p>
●委員	<p>50ページの都市機能誘導区域（赤い線の範囲）、この範囲に住んでいる方は都市計画税を納めているのか。このほかに都市計画税を納めている方はいるのか。</p>
◆担当課	<p>都市機能誘導区域（赤い線の範囲）は、市街化区域内で今後、都市機能区域を集めようとしている区域であって、都市機能誘導区域内に居住している方も含めて、市街化区域内に居住している方が都市計画税を納めている。</p>
●委員	<p>都市計画税を納めていて、誘導区域に入っていない方から、こちらに設定してこないのか、という話が出ないのか。</p>
◆担当課	<p>誘導区域の設定については、市として将来的に住んでいただきたい場所や、都市機能を集めていきたい場所を設定し、なるべく利便性が落ちないようにしていくことが目的である制度であり、基本的に民間の施設や開発を誘導することになるので、都市計画税を使って整備を図っていくということではない。不公平ということではなく、今後、生活の利便性をどう維持していくかというところに視点をおく計画となるので、説明しご理解をいただく必要があると思う。</p>
●委員	<p>本来は議員研究会より前に地域会議からの意見を聴いてから、計画の内容を議会へ示すべきだと思いますがいかがですか。</p>
◆担当課	<p>スケジュールの話だと思うが、今後、最終案を固めるまでには、住民説明会や、パ</p>

<p>●会長</p>	<p>ブリックコメントなどを行っていくため、今後も住民の皆様からのご意見を反映することは可能である。昨年度末の議員研究会では、計画の素案が固まったため、中間報告を行った。今回ご意見をいただいた部分についても、中身を検討し、反映できるものは反映していきたいので、いろいろご意見をいただきたいと思う。</p> <p>今回の意見聴取に対する回答を作成するに当たり、委員の意見を整理する時間を設けたい。本計画について、追加で疑問に思った件があれば、事務局へ書面を提出していただきたい。</p>
<p>◆事務局</p>	<p>今回の意見聴取は6月の会議1回で行うこととなり、時間がない中での検討となった。皆さんからいただいたご意見を事務局でまとめさせていただいて、会長と相談の上、案を作成し、皆さんに配付し確認してもらおうということでしょうか。</p>
<p>●会長 ◆全委員</p>	<p>事務局案でよろしいか。 《了承》</p>
<p>◆事務局 ●委員 ◆事務局</p>	<p>(2) 地域予算提案事業について 《地域予算提案事業候補について、資料に基づく説明》 6番の看板リニューアルはどうなっていたのか。 前回の資料から変更はない。赤羽根遺跡の現在の看板を撤去し、違う場所に新しく建てるという内容である。</p>
<p>●委員 ◆事務局</p>	<p>優先順位の上位になるのか。 3月の地域会議で地域予算提案事業候補の優先順位2番目を決めるということであったが、岩舟総合運動場のトイレ改修事業の予算が分からないと決められないとのことであったため、来月の会議で検討としたい。</p>
<p>●会長</p>	<p>来月の会議で地域予算を決めていきたいのでよろしく願います。</p>
<p>●会長</p>	<p>(3) その他 私事であるが、6月30日をもって地域会議委員を離職する。後任の会長には、副会長の高久委員、副会長は斉藤委員に、皆さんから了解がとればこのようにしたいがいかがか。</p>
<p>●全委員</p>	<p>《了承》  4. 連絡事項 5. 閉会</p>